

(計画名)	大阪地区近郊整備区域建設計画
(策定主体)	大阪府
(地域の課題)	
(1) 人口減少・市街地拡大の終焉期を迎えた都市の再生	
当区域においては <u>人口減少、少子高齢化、また財政制約の中にあって、既存ストックの有効活用も含め、大阪の都市や産業の再生を図る。</u>	
(2) アジアの賑わい都市を目指す交流基盤の形成	
<u>アジアの賑わい都市を目指し、人やモノの交流を活発化させるため、交通施設など交流基盤を整備する必要がある。</u>	
(計画の概要)	
(1) 都市の活力維持・向上のための広域交流インフラの整備	
<ul style="list-style-type: none"> ・アジアの賑わい都市大阪の窓口となる<u>関西国際空港2期事業を平成19年供用に向けて整備する。</u> ・広域交通ネットワークの形成に向け、<u>第二名神高速道路、阪神高速道路（大和川線、淀川左岸線）、第二京阪道路や大阪外環状線鉄道の整備をすすめる。</u> 	
(2) 魅力的な住環境の形成	
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>新住宅市街地開発事業、土地区画整理事業等住宅用地の供給を促進するとともに、香里園駅東地区等の市街地再開発事業、JR高槻駅周辺地区などまちづくり交付金事業をすすめる。</u> ・<u>住宅・施設の老朽化等の問題を抱える千里ニュータウン・泉北ニュータウンの住宅の整備・活用などをすすめる。</u> 	
(3) 安全の確保と災害に強いまちづくり	
<ul style="list-style-type: none"> ・災害防止、河川環境の保全を図るため、猪名川、淀川、大和川の直轄河川や寝屋川等の河川整備をおこなう。猪名川流域・寝屋川流域の総合治水対策により治水安全度の向上をおこなう ・<u>東南海・南海地震に伴う津波や高潮災害等に対処するため泉州地域の防潮堤、水門の耐震化をすすめる</u> 	
(4) 既存ストックを有効活用した産業・文化などの都市機能集積	
<ul style="list-style-type: none"> ・関西文化学術研究都市における研究・文化施設等の集積、彩都（国際文化公園都市）におけるライフサイエンス分野の研究開発拠点の形成、東大阪地域における共同研究開発拠点の形成等をすすめる。 	